

警城時報

行發日三十
編輯兼發行 岡田弘成
印刷所 警城時報社
發行所 警城時報社
一部金貳圓 一月金廿圓
廣告料 一行十字詰五十錢
日刊(日曜祝祭日翌日休刊)

柴田平署長退職

本田警部補は刑事課入り

平警察署長柴田鶴作警視は十二日付退職となり國策會社石油共販會社支配人として平市を去る事になった。同時に平署司法主任警部補本田泉氏は刑事課次席に榮轉した。柴田署長は警察生活二十三年平署には司法主任として在任した外二回に亘つて署長を勤めた人である。柴田氏は「二十三年の警察官生活に於て法主任横田警部補に決定不日着任して何れも爲す事がなかつたのが任する。」

平署長後任は

渡邊工場課長

平署長の後任は工場課長警部補渡邊勇吉氏が警視に昇進して着任する事になった。

平檢事局 調査に大童

減刑、復権並に市町村吏員その他の懲戒懲罰の免除に要する恩赦の大詔は十一日紀元の佳節にあたり換發されたので、この有難き恩典に浴する人々に一刻も早く恩赦の喜びを傳へて遣りて平檢事局では黒澤監督書記以下大童で該當者の調査を急いで居るが

學級増加の悩み

十一日夕迄に執行猶豫中のもの及び執行停止中のもの假出市の明年度豫算の小學校校費は就

本田氏後任

本田司法主任の後任は横田署司横田警部補に決定不日着任して何れも爲す事がなかつたのが任する。

出征遺家族を招待し 磐女で音楽會

警女の學藝會は十四日午前八時半から父兄及び出征遺家族を招待し、當日は専攻科生の裁縫手藝品展覽を開き、廢品即賣もなす。

記者クラブ

記者クラブは十三日午後六時から田町末廣で柴田署長に對し、諸橋久太郎、關内正一、佐藤作平の三氏客員として出席した。

四倉協和會

四倉協和會は十三日午後一時より四倉澤は今十三日午後一時より四倉澤内に開き左の如く役員を決定し

中野齒科

平市田町(電五〇九)院長 中野惠次

飯野村の殺人事件

豫審に移る

事佐藤富三、岩原常二、書記兼事務岩原常二、指導員西山直萬甲。

漁夫不足を種に 前借を誤魔化す

本縣製業組合では縣當局からの懲罰で縣下製業工場から生産する蠶の全量を肥料配給の充實を期するための之を縣内に於て消平市中平字中郷矢吹千代吉(二五)は去る三日平市中町柴や

女子師範生 四倉校視察

福島女子師範校十四年度卒業生以上と云ふ事になつてゐるが從來は七名以上であつた爲めを

二月二十八日

何故二月は二日短いのか

ケチな奴が〇分の誕生日を二月の二十九日にして置けば四年に一回しか廻つて来ないから誕生日の宴會費が儉約出来るだらうと喜んだ話がある。

他の月が三十と三十一の二種類であるのに、この月だけが二十八日とは一体どういふわけか。

一年三百六十五日、七と八の二月を除けば大小の月が仲

に使用したのは明治六年元

石城北部 青年總會

石城北部四倉、大浦、大野、草野の一二ヶ村の男女聯合青年會の總會は来る十八日午前十時より四倉町海盛座に開催する。尙當日は各町村青年會の政權發表演説會並に大日本聯合青年團主事東御金球師の講演もある。

無錢飲食

柴ちゃん

平市人事錄

出生、平市村木町渡邊勇男長女幸子

婚姻、夏井村藤間志賀克己

發見、これを珍重して、凱旋の際の土産にしてやらうといふので、彼意氣揚々と之れを故國へ持ち歸つたのです。

一体にエヂプト人が太陽を崇め尊ぶことは非常なもので、太陽神を祭ることは勿論〇分の遠の暦日法も太陽の動きを參照してゐたのであります。

ところが大シラーは〇分の偉大な功績を永遠に記念する爲めに己れの誕生日である七月に〇分の名をあげ、ジュリアスといひ然かも七月の一日だけ延長しました。その一日は二月から失敬して来た。

すると又その次に王位をついだアウガスタス・シラーも先代に倣つて〇分の誕生日八月(アウタガスタス)へも更に一日を加へ矢張その一日を二月から失敬してしました。

故に世にも稀なる曆が出来て了つた譯であります。それが、ローマ法皇たりしグレゴリー八世が二人のシラーに依つて勝手に改竄された曆を收拾し整理して四年に一回の四年を配して今日の太陽曆を作られたのです。太陽曆を名グレゴリ暦といふのはこれが爲めでありませう。

多田井質店

債券・公債 兩替・金融

御誂に既製品

電話三八六番

出張所縣内各町

電話三八六番

營業報告書

昭和十四年十二月三十一日

貸借対照表

資本金	五〇,〇〇〇・〇〇	銀行預金	三〇,七四七・四九
諸積立金	一,一〇〇・〇〇	貸付金	一五,九二一・九一
未拂配當金	六四・五〇	有價証券	二二
借入金	五〇・八六	所有不動産	四,三三六・七
借入金	八〇・四一	什器及備品	二,八七〇・〇〇
前期繰越金	六九・六四	現金有高	八六・〇〇
当期利益金	一,三三〇・一〇	合計	五四,五七・四三
合計	五四,五七・四三	資産之部	五四,五七・四三
		負債之部	五四,五七・四三
		銀行預金	三〇,七四七・四九
		貸付金	一五,九二一・九一
		有價証券	二二
		所有不動産	四,三三六・七
		什器及備品	二,八七〇・〇〇
		現金有高	八六・〇〇
		合計	五四,五七・四三
		資本金	五〇,〇〇〇・〇〇
		諸積立金	一,一〇〇・〇〇
		未拂配當金	六四・五〇
		借入金	五〇・八六
		借入金	八〇・四一
		前期繰越金	六九・六四
		当期利益金	一,三三〇・一〇
		合計	五四,五七・四三

退任監査役任期満了ニ付選舉ノ結果豊田未松、木村清治ノ兩氏再選重任ス

草野産業株式會社

右之通り候也

一金壹千圓也(年四分)
 株主配當金
 一金七百四拾壹圓六拾五
 後期繰越金

役員賞與金
 一金壹百參拾圓也
 法定積立金
 一金壹百參拾圓也

之ヲ處分スル事左ノ如シ
 一金壹百五拾圓也
 法定積立金
 一金壹百參拾圓也

前期繰越金
 一金六百九拾七圓六拾四錢
 前期繰越金
 一金六百九拾七圓六拾四錢

合計金貳千貳拾壹圓六拾五
 錢

昭和十四年拾貳月參拾壹日

平市田町
 三三三三屋
 電話三三三三番

洋酒と喫茶

麗人のサービス
 氣分本位の店

タイミン・キンが通り
 グリル・バックラス
 電話二一〇番

適正價格……秋冬荷揃へ
 電話 38 284
 常に商品豊富
 御用命は……
 平市 三井呉服店へ

強電力氣應 神經痛に特效

ハタフの氣療
 TEL 193 田中平

コンボーク
 鹽豚
 平市田町
 三三三三屋
 電話三三三三番

歸郷御挨拶

謹啓 時下嚴寒之候益御清適の
 段奉賀候陳者小生今事變頭初應
 召以來〇〇陸軍病院外科勤務中
 は公私共多大の御高配を賜り大
 過なきを得常に感謝仕居候
 今般不圖も召集解除と相成歸郷
 仕候就いては今後銃後にあり一
 層勉勵仕心組に御座候間何卒倍
 舊の御鞭撻を賜り度茲に謹みて
 御挨拶迄如斯御座候 敬具
 昭和十五年一月卅日
 平市南町
 上田耕作

神戸牛 すき焼

「旨い」一言にして盡く
 日本料理 山茶莊
 相始め申候
 電話五二〇番



銃後の作家計費引下に
 十日のサービスデーを
 活用下され
 平マーケット
 電話七〇

魚清なべ料理

自慢の
 鳥なべ・ちりなべ・よせなべ・ねぎなべ
 かきなべ・はもなべ・あんこなべ・その他

出前 平三善亭
 魚清食堂
 電話六三三番

ダンス・鏡臺

御婚禮調度品を
 取揃へました
 是非

和久井屋へ
 御越下さい
 平市一丁目(電話四〇五番)

干やなぎ
 いか切込み

平市土橋
 丸仙商店
 電話六六二番

開業

十二日開店いたしました
 御来店を御待ちいたします。

お壽しと
 味の料理 鮓 茂
 平驛前通り

内科外科
 エッキス光線 院長 安齋 徹
 産婦人科
 平市田町(電話四五七番)
 入院隨意
 安齋醫院

小兒科
 平市南町
 志賀醫院
 (入院ノ需ニ應ズ)
 電話一六二番

耳鼻咽喉科
 入院自炊の便あり
 大和田醫院
 平市南町(電話一〇七番)

産科・婦人科
 平市田町
 井坂醫院
 入院隨時
 電話五五九番

耳鼻咽喉科
 レントゲン科
 醫學博士 高柳博明
 平市驛前(電話三三六)